

植物多様性センターの「メグスリノキの変身」

学習園にはメグスリノキが2本あります。温室前の大きな木は雄花だけをつける雄株です。もう一本は苗木から育てられた木で、8年目の今年初めて花が咲きました。メグスリノキは雌雄異株ですので、花が咲いてやっと雌雄がわかります。今年咲いた木は、退化した雄しべを持つ雌花と雄花を同じ木につける雌株です。緑色で地味ですが、とても面白い花なのでご紹介します。



4月29日：雌花は伸びた牙状の花柱と退化雄しべが目立つ



5月4日：開花後1週間ほどで若い翼果が肥大する



中央の2本の花柱は、受粉後コイルのようにくるりと巻く



雄株雄花序：葯が開き花粉を出し終わると萎れて散る